

ビデオセッション 1

「Submucosal Endoscopy の現状と課題」

司会 塩飽 洋生（福岡大学消化器外科）

大南 雅揮（大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学）

Submucosal endoscopy は、軟性内視鏡を粘膜下層を経由して粘膜下層、筋層、管腔外へのアプローチを可能とする革新的な内視鏡治療であり、POEMをはじめ、Z-POEM、D-POEM、G-POEM、POET、さらには Pocket creation method を利用した ESD、PAEM、EFTR などの手技にも応用されている。低侵襲かつ機能温存に優れる一方で、適応や安全性、手技の標準化などの課題も存在する。本セッションでは、各施設での現状、工夫、取り組みや課題などを幅広く募集し、動画供覧のうえ、今後の展望について議論したい。